

警察官等を騙った特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和 7 年 9 月 10 日（水）

2 発生日時

令和 7 年 9 月 10 日（水）午後 0 時 45 分頃から同日午後 2 時頃までの間

3 被害品

キャッシュカード 6 枚

※ 出金額 捜査中

4 被害者

和歌山市内居住 80 歳代 女性

5 状況

令和 7 年 9 月 10 日午後 0 時 45 分頃、被害者方の固定電話に、家電量販店の従業員を騙る男から「当店であなた名義のクレジットカードが何度も使われています。最近、当店で買い物をしましたか。」等と電話があり、買い物をしていない旨を伝えると「あなたの個人情報が出ている可能性があります。これ以上、漏れないようにするため、警察官が向かいますので、全てのキャッシュカードを封筒に入れて封印してください。封印作業が終われば、流出元を特定する調査を行います。」等と言われました。

その後、警察官を騙る男から電話があり、口座情報や暗証番号を伝えました。

同日午後 2 時頃、被害者方に警察官を騙る男が現れたことから、被害者は男が用意した封筒にキャッシュカード 6 枚を入れて封印しました。

警察官を騙る男が立ち去った後、被害者から連絡を受けた家族が不審に思い、封筒の中身を確認したところ、キャッシュカードではなく、プラスチックのカードが入っていたことから詐欺被害に気付き、警察に届け出たものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。

警察官を騙る詐欺が多発しています。

警察官が「資金調査」などを理由にお金を振り込ませたり、お金を回収したりすることは絶対にありません。

そのような電話があれば、詐欺を疑って、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。